

平成29年度事業報告

〔自 平成29年4月1日 ～ 至 平成30年3月31日〕

〔ミッション〕

横須賀市の都市像「国際海の手文化都市」の実現を支援するために、市民の国際感覚を高め、市民レベルの多文化共生社会をめざす国際交流事業を推し進めます。

- 【1】 自国の文化を知るとともに、多様な文化への理解を深め、多文化共生の街づくりをめざす。
- 【2】 すべての人々の人権が尊重され、一人ひとりが大切にされる社会づくりに貢献する。
- 【3】 各人がもつ能力や経験を生かし、明るく楽しいボランティア活動ができる場をつくる。

〔事業概要〕

- 【1】 会員を大切にされた協会運営を心がけ、ミッションの実現をめざし、一つひとつの事業を遂行した。
- 【2】 会員のボランティア参加登録を積極的に勧めると同時に、ボランティアが活動しやすい環境作りに努め、ボランティア活動の裾野を広げた。
- 【3】 会員相互の交流を深めると同時に、会員のみならず広く市民に対しても国際交流を行なう機会を提供するように努めた。
- 【4】 市民生活の安全を第一としてとらえ、特に外国籍市民の防災意識の啓発及び災害発生時の安全確保が行える体制を整備するよう市民と一体になって努力した。
- 【5】 認定及び市の指定資格取得により、寄付金獲得の活動を実施した。

I 運營業務

(1) 会議体

① 理事会

4月17日(月)臨時理事会(総会提案事項の最終審議)、8月28日(月)定例理事会(30年度予算案審議)、11月6日(月)定例理事会(30年度修正予算案審議 他)、1月15日(月)運営委員会・理事会の合同会議、3月19日(月)運営委員会・理事会の合同会議(総会での審議事項他)を実施。

② 運営委員会

協会の運営に関する事項を審議し重要事項については理事会への提案内容を纏めその承認を求めた。29年度は3回開催。

③ 事業執行委員会

理事、執行責任者、事業部門代表者など17名が参加、事業執行の円滑化を図ると共に事業の運営管理を行なった。29年度は4回開催。

④ 総会

5月20日(土)、第15回通常総会開催。

会場出席者17名、議決権行使による出席者197名の審議により、28年度事業報告及び決算

報告、29年度事業計画及び活動予算に関して提案通り可決された。

(2) 認定資格取得と横須賀市の指定資格取得による義務業務

- ① 年度事業終了後、県NPO事務局及び横須賀市に、所定の書式に基づき、その事業年度の事業報告を作成し報告。
- ② 定められた書類を作成し、閲覧希望者に対する公開措置を実施した。
- ③ 法人の情報公開性を高める為、定められた書式にてホームページ上に公開掲載した。
- ④ コンプライアンス（法令遵守）を徹底した。

(3) 情報提供

- ① 情報紙発行
ニュースポット：7月に64号、1月に65号発行 部数は64号1,700部、65号1,500部
(発行部数の見直しを行った)
- ② メールマガジンで月1回の情報提供
会員に対して事業活動の案内やボランティア活動への参加・協力をお願いなどを速やかに連絡し、メールによる情報提供をタイムリーに行った。
メールアドレスの無い希望者には、FAXや郵送で同じ情報を提供した。
- ③ ホームページによる情報提供
ホームページの内容充実とメンテナンスを随時行い、常に新しい情報の提供を行った。

II 自主事業

(1) 国際協力支援事業

- ① 窓口翻訳
外国人、市民などから窓口にて依頼を受けた、戸籍謄本、結婚証明書、出生証明書などの行政書類の翻訳を行い、29年度は合計146件の実績であった。
- ② 通訳・翻訳
横須賀市、企業などからの依頼による通訳・翻訳業務を行った。
通訳 11件、翻訳 24件
- ③ 国際貢献 フェアトレードコーヒー販売（決算数値）
国際貢献の一環として、フェアトレード取扱商品であるネパールコーヒーを販売した。
・事務所での袋売り：76,000円
・イベントでの販売：82,450円（JFY・懇親会・ボランティア交流会）
合計額：158,450円
- ④ 商工会議所パートナー事業
商工会議所との連携を基に、関連する情報を共有化し、積極的にパートナー事業に協力した。
このパートナー事業も5年を経過し、商工会議所の信頼も高く、大きな成果を上げているので、さらに連携を強化して業容の範囲拡大をすすめる。
- ⑤ 商工会議所幹旋の上町連合商店街出前英会話教室
商工会議所の幹旋により、上町商店街の会館で「店頭英会話教室」を開設して3年が経過し

た。常時十数名の参加で非常に好評であり、この輪を他の商店街にも広げ、外国人来店誘致につなげていきたい。また、平成28年4月から汐入整骨院 横須賀鍼灸院で、接客英語の習得を目的に出前英会話教室が行われている。

(2) 国際協力交流事業

① 世界の料理教室

世界各国の講師による家庭料理に親しみながら様々な国の生活・文化・習慣などを学び、国際理解の推進を図った。

第1回	6月13日(火)	: アメリカ(菊池シンディ)	参加者 27名
第2回	9月12日(火)	: バングラデシュ(マスマ・カートゥン)	参加者 24名
第3回	12月12日(火)	: イギリス(デヴィッド・ウィートン)	参加者 26名
第4回	2月13日(火)	: ロシア(長澤イリーナ)	参加者 27名

(3) 国際協力啓発事業

① 外国語講座

外国人とのコミュニケーションの基礎手段である外国語、とりわけ市民のボランティア活動に必要な高い英会話をはじめ、韓国語、中国語など多文化共生社会を視野に入れた外国語講座も開催した。昨年に引き続き、高校生英会話及び夜間英会話講座も開催した。

- 1学期：講座数17クラス、講師数10名、生徒数181名
 - 2学期：講座数18クラス、講師数11名、生徒数192名
 - 3学期：講座数17クラス、講師数10名、生徒数166名
- 出前英会話講座：ハッピープリスクール

(4) 自主活動

① ボランティア交流会

・4月9日(土) 講演会

第1部 被災地訪問報告「つるし雛報告」 真汐優子氏・多賀名和枝氏

第2部 「人生100年を見据えて、これからのボランティア活動」 大屋宣美氏と事務局長

参加者 21名

② ホームステイ・ホームビジット

横須賀市を訪問する海外からの学生や研修生およびその他の外国人などにホームステイ・ビジット受入れ家庭を紹介。

29年度は韓国留学生2泊3日、5名を4家庭で受け入れた。

③ 国際理解講座

横須賀市内の小・中・高校・大学の学校現場や公的な施設からの依頼により外国人講師を派遣し、国際理解講座を開催した。

外国人講師からその国の民族、文化、歴史、遊び、スポーツ、言語などについて、時には民族衣装などの実物を用いたり、パソコンで映像を見せたりしながら講義をしてもらった。

・派遣件数 25件(ボランティア他39名、出身国11カ国)

明光高校

5月12日(金)(フィリピン・中国・タイ・ロシア)7クラス

6月16日(金)(フィリピン・中国・タイ・ロシア)8クラス 参加者80名

生涯学習財団市民大学国際交流講座に講師派遣

10月20日(金)フィリピン、10月27日(金)ロシア、11月3日(金)韓国、

11月10日(金)中国、11月17日(金)カナダ、11月24日(金)イギリス、

12月1日(金)ブラジル、12月8日(金)インドネシア 全8回 参加者30名/各回

国土館高等学校昼間定時制課程1年生 移動教室(横須賀市内にて外国人との国際交流)

6月8日(木)総合福祉会館 オリエンテーション 汐入周辺散策他

参加者122名(内 学生99名、外国人15名、その他8名)

Ⅲ 受託事業(横須賀市)

(1) 国際協力支援事業

① 外国人生活相談

横須賀に在住・在勤・在学する外国人が、生活の場で出会う悩み、問題などの相談に応じた。

4名の相談員が言語別に曜日を決めて対応。 相談件数162件

国別では、フィリピン50件、タイ35件、ペルー44件、日本14件、韓国・朝鮮4件、

ブラジル4件、アメリカ7件、コロンビア1件、インドネシア2件、ロシア1件

・11月15日(水)生活相談勉強会

「子どもたちと共に～日本語支援を通して見えてくるもの～」

横須賀市教育委員会日本語指導員で、学習支援グループのメンバーでもある講師をお迎えして、外国につながる子ども達の日本語支援・学習支援について、実際の活動現場のお話を伺った。 参加者15名

② 日本語会話サロン

横須賀市に在住・在勤・在学する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語会話能力を高めるため、会話サロンボランティアの協力のもとに、年間で354回の教室を開き、受講者の参加延べ人数は2,715名だった。

・日本語指導講座(入門編):5月27日・6月3日・6月24日(土)

・指導者交流会:2018年1月25日(木)

横須賀市教育委員会に出前トークをお願いし、外国につながる児童への学校での日本語指導等の実状について学んだ。日本語会話サロンでも児童や生徒の参加があることから、多くの質疑がされ、参考となる話を聞く事ができた。 参加者13名

③ 外国人防災啓発事業

災害時に「要援護者」となる外国籍市民を支援するため、横須賀市の関係部署との連携により市内在住の外国人に対して災害支援活動を実施した。

・11月12日(日)ジャパン フェスティバル イン よこすか で防災コーナーを設置した。

参加人数 149 名 (内外国 48 名)

・2月17日(土) ヴェルクよこすかで外国人のための防災講座と非常食試食会を実施した。

参加者 31 名 (内外国人 6 名)

(2) 国際協力交流事業

① キッズ・フェスティバル

日本人と外国人の子供たちが集まり、ゲームや仮装コンテストなどを行なった。家族で参加する、協会唯一の子どもの行事である。

10月9日(日) (ヴェルクよこすか)

参加者 263 名 (内：外国人参加者 66 名、外国人ボランティア 10 名)

② 日本文化体験教室 (JFY) 年 3 回開催

流派・教室・家元等の制度を越えて日本文化を紹介するグループが、横須賀市及び近隣に在住・在勤・在学する市民および外国人を対象に体験教室を 3 回開催し、この内 1 回は、「ジャパン フェスティバル」の要素を取り入れ、日本人と外国人の交流に重点を置いたイベントとして開催した。

・日本文化体験教室

生け花・折り紙・着物・書道・茶道・日本舞踊・琴・三味線/大正琴の 8 部門

第 1 回：6 月 10 日 (土)

参加者 324 名 (内：外国人 185 名、日本人 31 名、ボランティア他 108 名)

第 2 回：11 月 12 日 (日) 第 23 回ジャパン フェスティバル イン よこすかと合同開催

参加者 1, 232 名 (内：外国人 596 名、日本人 373 名、ボランティア他 263 名)

第 3 回：3 月 3 日 (土)

参加者 326 名 (内：外国人 193 名、日本人 38 名、ボランティア他 95 名)

・第 23 回ジャパン フェスティバル イン よこすか 第 2 回日本文化体験教室と合同開催

ステージ：和太鼓、佐島御船歌、武道 (空手)、ポリネシアのダンスと音楽、琴、タイ舞踊と民族衣装のファッションショー、第 7 艦隊バンド、サリヴァンズスクール合唱団、豊島小学校の音楽と踊り、サリヴァンズスクールと豊島小学校によるジョイントコンサート

展示：横須賀の歴史、つるし雛、タイ山岳民族支援、防災コーナー、姉妹都市交換学生事業、日本語会話サロン紹介コーナー

体験：日本文化体験教室 8 部門の他に囲碁、甲冑隊、武道 (空手)、パッチワーク・キルト、遊びコーナー (手作りおもちゃ、日本のあそび、けん玉)、絵手紙、和太鼓

・その他に、湘南国際村、米軍基地、日本語会話サロン、姉妹都市交流などからの依頼に対して、体験希望者の受け入れや講師の派遣を行った。

(3) 国際協力啓発事業

① 国際ユースフォーラム

青少年の国際理解を深めると共に相互交流を推進するため、横須賀市に在住、在学する日本人及び外国人の高校生など、青少年を対象にスピーチとスキットを中心とした発表によるフ

オーラムを開催した。

- ・7月29日（火）ヴェルクよこすか 6階ホールで開催

第一部：姉妹都市と横須賀市の交換学生によるプレゼンテーション、スピーチ

第二部：交流会

スピーチのレベルは年々向上し、横須賀市交換学生OB・OGの積極的な運営参加の姿もみられた。

参加者 69名（内：外国人発表者 10名）

（4）姉妹都市交換学生派遣・受入事業

① 交換学生の派遣

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流のあるコーパスクリスティ市（アメリカ）、ブレスト市（フランス）、フリマントル市（オーストラリア）の各都市に2名、メッドウェイ市（イギリス）に1名、計7名を交換学生として派遣した。

派遣学生は国際理解を深めるとともに、姉妹都市との交流を通じて、姉妹都市やその国々との相互理解、友好関係を深め、ひいては、国際平和に資することを目的とし派遣した。

横須賀市の親善大使として、ホームステイをしながら交流を深め、横須賀や日本の文化、魅力を各姉妹都市に発信するとともに、姉妹都市の文化、魅力を学び、横須賀市民に伝えることを今後の課題として活動を行なった。

② 交換学生の受入

夏休みの期間中、約2週間、姉妹都市交流としてコーパスクリスティ市（アメリカ）、ブレスト市（フランス）、フリマントル市（オーストラリア）、メッドウェイ（イギリス）各都市から2名、計8名を交換学生として受け入れた。 受入家庭（8家族）

メッドウェイの学生は、滞在期間を横須賀と伊東市で半分ずつ過ごした。

姉妹都市の高校生が横須賀市で生活することによって、日本文化、横須賀の文化に触れると共に各自国の文化を紹介してもらい、帰国後は横須賀市を広く紹介してもらう。

又、ホームステイ受入の家庭には、姉妹都市の高校生との生活を通して多文化共生を体験し、市民レベルの国際交流の担い手となっていただけるようお願いした。

- ・姉妹都市交換学生プログラム写真展

3月10日（金）～4月13日（木） モアーズシティ

9月8日（金）～9月29日（金） モアーズシティ

IV その他の事業

今年度は、その他の事業（収益事業）に係る活動は実施しておりません。